

「選択する未来」の検討に当たって

(被災地での課題と取組の共有)

平成 26 年 3 月 12 日
小泉政務官 提出資料

「選択する未来」の検討に当たって（震災復興の現場での取組を共有）

- 人口減少、高齢化、産業の空洞化など、「選択する未来」委員会で掲げられている検討項目は、復興で抱える課題と共通。
- 被災地における取組を共有するとともに、先導的な取組については、日本のモデルに。

これまでの取組

「骨太方針」（平成25年6月14日閣議決定）（抄）

- ・ 震災復興を契機として、我が国や世界のモデルとなる『新しい東北』の創造が必要
- ・ 『新しい東北』の要素となる5つの目指すべき政策の方向性に沿って、早急に施策の具体化を図る
- ・ 被災地において、社会実験や研究開発・環境支援プロジェクト等を迅速に進め、全国に先駆けて新しい持続可能な経済社会のモデルとなる「創造と可能性ある未来社会」を創り出し、発信していく

「新しい東北」先導モデル事業等の実施

- ・ 5つの柱を中心に、「現場に解がある」との認識に立ち、被災地で既に芽生えている先進事例を加速（平成25年度は、460件余りの応募の中から、66事業を選定・支援）

今後の展開

被災地における取組の推進

- ・ 先導モデル事業等により、被災地における地域の課題解決に向けた取組を推進（関係府省の支援事業も活用）

「選択する未来」委員会との連携

- ・ 委員会の場に、震災復興の現場での先導的な事例を提供し、議論の中で積極的に活用
- ・ 委員会における議論の方向性を踏まえ、「新しい東北」の取組をさらに推進

日本全国の地域への横展開

【参考】「新しい東北」の創造に向けた取組

- 被災地は、震災前から、人口減少、高齢化、産業の空洞化等、**日本全国の地域が抱える課題が顕著**。
- このため、単に従前の状態に復旧するのではなく、**復興を契機にこれらの課題を解決し、我が国や世界のモデルとなる「創造と可能性の地」としての「新しい東北」を創造**。

元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会

取組例：地域で地域の高校生を育てる仕組み

地域の高校生が、自分たちの将来像を描きつつ、自らが職場体験やインターンシップの受入先を検討・開拓。【宮城県石巻市】



「高齢者標準」による活力ある超高齢社会

取組例：「次世代型地域包括ケア」の推進

24時間対応の在宅医療・介護等を目指し、自治体・NPO等が協働し、多職種連携システムを構築。【宮城県石巻市】



持続可能なエネルギー社会 (自律・分散型エネルギー社会)

取組例：温泉熱を活かした六次化産業創出

温泉熱エネルギーを活用した植物工場や養殖施設により、新たなビジネスモデルを構築。【福島県福島市土湯温泉】



頑健で高い回復力を持った社会基盤(システム)の導入で先進する社会

取組例：住民主体による地区防災計画の立案

地域住民が主体となって、地区が抱えるリスクの抽出やその回避策の検討を行い、防災計画を策定。【岩手県大槌町】



高い発信力を持った地域資源を活用する社会

取組例：新たな農業モデルの実現

人工光を利用する完全密閉型の栽培施設により、洗わずに食べられる無農薬の作物の栽培を実現。【福島県白河市】



取組例：郷土料理である漁師料理の商品化

未利用資源を活用し、三陸の郷土料理である「漁師料理」として、付加価値の高い商品を開発。地域の生産者、加工者、販売者、流通者が参加するプラットフォームを構築。【岩手県大船渡市、釜石市、陸前高田市、遠野市】



【参考】復興計画の変更に柔軟に対応している事例



被災地では、**早期に住宅再建を進めることが最優先**となっており、**帰還意向をもつ住民が減少し、計画の見直し**が必要な場合でも、十分に対応できていない事例がある。

宮城県女川町の事例：帰還住民の減少に柔軟に対応

- 将来的な帰還住民の減少を当初から想定し、**事業地区を計画的に縮小**できるよう、**段階施行を導入**。
- **中心部エリアと高台**の整備可能なエリアを重点的な**先行整備**。
 - ・中心部は、JR石巻線の再開に併せ、**平成26年度末のまちびらき**を実現見込み。**(商業・業務復興としてはトップランナー)**
 - ・高台では、**平成25年度の災害公営住宅整備、平成26年度上半期の宅地供給**を実現。**(最大規模の区画整理でありながら)**
- 中心部エリアには公共公益施設等の諸機能を集中整備し、**コンパクトなまちづくり**を目指す方針。

